

# 「タオルびと」制作プロジェクト

～地域産業資料・情報の収集と発信～



今治市立中央図書館（愛媛県今治市） <http://www.library.imabari.ehime.jp/>

## 基本データ（数値はH25年現在）

住所	今治市常盤町5丁目203番地2
電話番号	0898-32-0695
人口（図書館が所在する市町村）	16万人
職員数（うち有資格者数）	24人（11人）
蔵書数	380,161冊
登録者数	34,933人
年間貸出冊数（H24）	541,260冊

## 目的・趣旨

今治地方の伝統的地域産業であるタオル工業に焦点をあて、戦後から現在においてタオルづくりを支えてきた人びと（企業家や技術者など）にインタビュー調査をおこない、その内容を編集し、情報として広くネット発信すると同時に、資料として記録を残すことを目的とする。

## 取組概要

### 【企画名】

タオルびと～タオルづくりの技と伝統のなかに息づく日本のモノづくりの原点～

### 【概要】

城西大学経営学部辻智佐子准教授の協力のもと、タオルづくりを支えてきた人びとへのインタビュー調査をまとめ、当図書館のホームページにて掲載。また、年に一度「タオルびと」講演会を開催。

### 【タオルびとインタビュー】

(1) 収集方法…産官学の協力団体などの意見を参考にインタビュー調査をおこなう。

(2) 提供方法

- ホームページにて記事の掲載（毎月16日掲載更新）
- 1名のインタビュー調査を4回に分けて掲載

### 【タオルびと講演会】

年1回、タオルの歴史に触れながら、今治タオルの特徴や現状を講演。（講師：城西大学経営学部辻智佐子准教授）

### 【所蔵資料提供】

今治綿織物業関連資料所蔵一覧をホームページに掲載



「タオルびと」ロゴ

## 特徴

「タオルびと」の特徴は、おもに以下のとおりである。

- ① 図書館のホームページから毎月16日にネット掲載されていること。  
掲載日16日は、今治タオル製織の祖、阿部平助の命日にあたる1938年11月16日に由来するものであり、ネット掲載することで、広く全国の方々にも読んでもらえるようにしている。
- ② 産官学（四国タオル工業組合などの産業界、今治市役所などの地方自治体、城西大学といった教育機関）の協力体制のもとで、プロジェクトが遂行されていること。各関係機関のホームページから当図書館ホームページへのリンクを貼っている。
- ③ 資料的価値に重きを置いた資料の作成。  
「タオルびと」は、日本のモノづくりの強さはどこにあるのかを意識しながら、数値やデータでは見えてこない「ひと」の側面に着目している。かれらがどのようにして今治タオルの発展を支えてきたのかを考察するうえで重要となる、人物像や経営理念、技術、経営戦略などを具体的に記録した資料や文献がきわめて少ないことから、「タオルびと」では地域資料として記録を残すことに力点を置いている。さらには、地域産業研究に携わる研究者や学生たちのための資料として残す予定である。
- ④ 同プロジェクトに連動した催し物を開催（予定）していること。  
現時点では、講演会『「タオルびと」序章～戦後日本と今治タオルのあゆみ～』（年1回）の開催。  
さらには、産官学を巻き込んだ企画展の開催を考えている。



インタビュー風景



「タオルびと」講演会風景

## 取組の成果と今後について

講座参加者の声（「郷土史を経済の視点から講義され、大変興味深かった」「タオルに関する講演が少ない中、勉強する良い機会であった」「毎月の掲載を楽しみにしている」など）から、地元の産業に触れる機会として期待されていると感じている。今後、記事を書籍化し、地域資料として保存し、また、産官学を巻き込んだ企画展なども企画し、地域支援になるような活動に結びつけたい。